

翻訳にあたってのヒント

その 108

■ 「戦略」について一考

通常は、「strategy」と英訳される。軍事的な戦略であれば、これでいいだろうが、ビジネス関連資料でよく用いられる「strategy」にこの戦略がズバリそのまま当てはまるかどうかについては一考を投じたい。

その場合は、「(大局的・総合的・長中短期的なあるいは大規模な) 事業や業務計画」のことを指すことが多いから、場合によっては、「(事業上の) 方策、方針、計画、施策」と訳してもいいだろうというのが、持論だ。また英和辞書によっては、「策略」という定義も載っているが、これは「たくらみ、計略、はかりごと」という意味であるから、個人的には使えぬ訳である（当然ながら文脈に応じて）。

また、和英辞書を引くと、「stratagem」が戦略とされているものが多いが、ビジネス文書で使われている場合のその真意は「ライバル企業や商売敵を欺き利得を得ることを図る行為や計画」のことであり、「策略・計略・術策・詭計・権謀」とした方が適訳であろうから、辞書に載っているからという理由だけで一概に「戦略」だと訳せない言葉である。

加えて、「tactic(s)」という英語も「戦略」の意味で使われることが多々あるが、これもその基本的な意味は「戦術や戦法」であって、戦術・戦法に比べ広範である「戦略」とは言い難い言葉である。そして文脈によっては「方針・駆け引き・手口・策略・方策・手法・対策」と訳される言葉だという情報も得ている。

最後に（事業や業務・政策上などの）戦略・計画という意味で「playbook」という英語が時に使われるということを紹介して、今回は終わりとしたい。

これにて、これで第 108 回目完了。